



ニュースリリース

2022年12月13日

マレリ CES 2023 プレビュー #2:

Diorama Display

ジオラマディスプレイ： 車室内での情報伝達を向上し、運転時の安全に寄与する技術

- マレリのイノベーション、ジオラマディスプレイは、フロントガラス下端部に高いコントラストでデータを表示し、車両運転時の安全に寄与します
- マレリの CES ブースでは、自動車の「パーソナリティー」と「パフォーマンス」を進化させる最新イノベーション技術を体験する、特別な機会を提供します
- 招待されたゲストの皆様は、マレリのデジタルデザインスタジオにて、ライティング、センシング、エレクトロニクス、インテリアのオプションから、任意のアイテム、機能を選択し、自分好みの車をデザインすることができます

CES 2023 (コンシューマー・エレクトロニクス・ショー2023) では、世界的な自動車関連サプライヤーであるマレリが、新しい車内体験をお届けする Diorama Display ジョラマディスプレイを含む、最先端の革新的技術を展示します。2023年1月5日から7日まで、マレリはネバダ州ラスベガスのウィン・ホテル、ラトゥール・ボールルーム 5&6 にて出展し、招待されたゲストの皆様は、未来のモビリティをマレリと共創するインタラクティブな体験をお届けします。

Diorama Display ジョラマディスプレイテクノロジーは、フロントガラスの下端への高品質の投影を可能にし、そのベースに配置された TFT ソースからナビゲーション、インジケーター、警告などの画像を映し出します。時間帯や道路環境を問わず、鮮明な視認性と読みやすさを実現しています。

このソリューションは、ほとんどのヘッドアップディスプレイと比較してはるかに大きな視野角を提供し、車内のすべての人々に情報をスパンして表示する機能を備えています。単一ディスプレイの代わりに導入されたピラー・トゥ・ピラーのモジュラー構成により、ドライバーは死角にある物体を容易に認識できます。

スケーラブルなアーキテクチャで、フロントコックピットに容易に組み込む事ができるコンパクトなハードウェアを採用し、コスト削減とスペースを有効活用する技術をお客様に提供します。

CES におけるマレリのホスピタリティスイートを訪れる方々は、Diorama Display ジョラマディスプレイに加えて、自動車の「パーソナリティー」と「パフォーマンス」を推進する同社の最新技術ポートフォリオを



体験していただくことができます。需要に応じた機能は、マレリの最新のコンセプトモデルとデジタルコンフィギュレーターによってこの分野に活かされます。

お客さまは、マレリの **Digital Design Studio デジタルデザインスタジオ** で紹介されているライティング、センシング、エレクトロニクス、インテリアの中から厳選されたものを選択し、ご自身の車を構成することで、ブランドのパーソナリティーや DNA を定義していただくことができます。ユーザーの皆さまは、指定されたパーソナリティスタイルからご自分の特徴を選択するか、独自のデザインを作成するかを選択していただけます。

マレリについて

マレリは、世界的な独立系自動車関連サプライヤーです。イノベーションとモノづくりに確かな実績を持つ当社の使命は、お客さまやパートナーと協力して、より安全で、より環境に優しく、よりコネクティビティの高い世界を造ることを通じて、モビリティの未来を変えることです。全世界に約 50,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、米州、欧州、アフリカに約 170 の施設や研究開発センターを有し、2021 年の売上は約 1 兆 3,800 億円（約 106 億ユーロ）に達しています。